

Ⅲ 連 携 協 力 事 業

宮崎市教育委員会との連携協力

宮崎市教育委員会との平成26年度連携協力事業については、以下のとおりである。

1 宮崎西中学校における英語学習アシスタント活動（短期：5日間）

教員を目指している3年生が、教育実習前の中学校での学校体験として、昨年度に引き続き、英語学習アシスタント活動を行った。

(1) 総 数 10名（3年生 10名）

(2) 活動日数 5日間

(3) 活動期間及び参加者

・平成27年2月16日(月)～2月20日(金) : 3名参加

・平成27年2月23日(月)～2月27日(金) : 4名参加

・平成27年3月 2日(月)～3月 6日(金) : 3名参加

2 宮崎西中学校における英語学習アシスタント活動（長期：半年間）

教員を目指している4年生が、卒業後、不安なく教壇に立てるよう、昨年に引き続き半年間、英語学習アシスタント活動を行った。

(1) 総 数 4名（4年生 4名）

(2) 活動期間 半年間

3 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動（長期：半年間）

教員を目指している4年生が、卒業後、不安なく教壇に立てるよう、昨年に引き続き半年間、英語学習アシスタント活動を行った。

(1) 総 数 4名（4年生 4名）

(2) 活動期間 半年間

4 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動（長期：1年間）

教員を目指している3年生が、教育実習前の中学校での学校体験として、平成26年度から英語学習アシスタント活動を行った。

- (1) 総 数 6名（3年生 6名）
- (2) 活動日数 1年間

5 大宮中学校別室登校生徒への支援活動（長期：1年間）

学校から別室登校生への支援依頼があり、教職課程を履修している3年生を中心に、別室登校生の学習指導や悩み相談等の支援を行った。

- (1) 総 数 7名（3年生 7名）
- (2) 活動期間 1年間

6 第8回ひむかかるた競技大会

平成26年2月14日（土）宮崎公立大学体育館において開催した。

- (1) 主 催 ひむかかるた協会
- (2) 共 催 宮崎公立大学、宮崎市教育委員会
- (3) 後 援 宮崎県教育委員会
- (4) 協 賛 宮崎中央ロータリークラブ
- (5) 競技種目 団体戦・個人戦
- (6) 参加資格 小学生の部 県内在住の小学生
幼児の部 市内保育園児・幼稚園児

詳細は85ページに掲載

7 その他の活動

・ 宮崎西中学校における学校支援ボランティア

① サマースクール支援（夏季休暇中）： 40名参加

夏休み期間中のサマースクール（学習会）において、教職課程を履修している学生が中学生への学習支援を行った。

② 英語検定二次試験面接指導（11月）： 32名参加

英語検定を受験する生徒を対象にした二次試験（面接）の指導に、教職課程を履修している学生が面接官役になって指導を行った。

<宮崎県教育委員会主催事業>

スクールトライアル事業への参加（短期：3日間）

昨年度に引き続き、教員を目指す2年生に対して、教育実習とは別に、教員の業務に対する理解や子どもとのコミュニケーションを図る機会を提供した。

(1) 総 数 21名（2年生21名）

(2) 受入学校 県内の中学校、高等学校

(3) 活動日数 3日間

行事名	第八回 ひむかかると競技大会
目的	宮崎の文化、歴史、産業、風土、偉人などを綴った郷土かるたの競技をとおして、若年層を対象に地域についての知識と愛情を育み、高揚させることにより、「ふるさと・みやざき」のイメージを再生、創造する。
実施日時	平成27年2月14日(土) 午前9時～午後4時
会場	宮崎公立大学 体育館 (宮崎市船塚2丁目184番地)
主催	ひむかかると協会
共催	宮崎公立大学、宮崎市教育委員会
後援	宮崎県教育委員会
協賛	宮崎中央ロータリークラブ
競技種目	個人戦、団体戦
参加資格	小学生の部 県内在住の小学生 幼児の部 市内保育園児・幼稚園児
参加学校数 および参加 保育園数 (チーム)	17小学校より、団体戦、個人戦合計102名。 2保育園、2幼稚園より、団体戦のみ合計18名。
参加者数	小学生選手102名。保育園児選手18名。 来賓、観客も含め約300名。
参加者負担	(参加料) 無料
資料等	団体戦各小学校3チーム、個人戦3名までとする。
競技方法	団体、個人それぞれ当日抽選を行い、予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦にて行う。
競技規則	別に定める「ひむかかると大会競技規則」による
審判	競技規則に基づき公認審判員が努める。
表彰	1～4位を上位入賞者とし、表彰する。また参加選手全員に参加賞を授与する。

【競技のもよう】



・小学校の部には、市内 17 校から団体戦、個人戦合わせて 102 名の児童が参加。幼児の部(団体戦のみ)に市内 2 保育園、2 幼稚園から参加した 18 人の園児とあわせて合計 120 名の選手が出場し、参加盛況のうちに無事大会を行うことができた。

・午前 9 時 30 分より開会式が行われた。来賓として本学より小松学務課長補佐(理事長代理)、学外より二見宮崎市教育長、宮崎中央ロータリークラブ・湯浅会長が臨席した。

- ・ 10 時より試合開始。昼休憩(12 時～13 時)をはさみ、午前中は予選リーグ 3 試合、午後は決勝トーナメント 3 試合が、それぞれ団体戦、個人戦同時並行という形で行われた。午後のトーナメントは小学生の部のみで行い、幼児の部は午前中のリーグ戦のみで順位を決定した。
- ・ 第 8 回目を迎えた今年度は、昨年度からのよい流れを受けハイレベルな内容の試合が相次ぎ、より一層の選手の技量アップが確認できた。特に午後の決勝トーナメントでは白熱した試合が展開された。

- ・ 今回で 4 年目となる「幼児の部」では、初めて幼稚園(宮崎学園清武みどり幼稚園、宮崎共愛学園共愛幼稚園)からの参加も実現した。小学生選手と遜色ないほどの力量の子供も多く、日ごろの熱心な取り組みが伺われた。
- ・ 小学校の部では、団体戦は小戸小学校 C チーム、個人戦では田口遼選手(西池小)、幼児の部(団体戦のみ)では三和保育園 A チームがそれぞれ優勝した。



- ・ 大会運営に当たっては、例年同様宮崎中央ロータリークラブの「協賛」をいただいたが、本年度も同クラブ傘下の青年組織である「宮崎中央ローターアクトクラブ」に大会運営の主要業務を担当していただくなど、強いご支援を賜ることとなった。
- ・ 当日は大会運営もスムーズで、また昨年以上の装飾を施した会場設営もおおよその好評を得た。

- ・ 小学生の部における参加校数については、昨年度の 16 校からさらに 1 校増え 17 校となった。今大会の参加はかなわなかったものの、日ごろからかたるたに取り組んでいる学校は市内だけでも 20 を超えており、近い将来大会参加校数も 20 を超えるものと期待している。



- ・大会実行に当たっては、前述の「宮崎中央ローターアクトクラブ」に全面協力をいただき、今年度も宣伝パンフレット、新聞形式のかかるた通信(計2回)等の宣伝メディアの発行、配布を行うとともに、事前にキャラバン隊を組織し、訪問指導事業(市内計11校)を行うなど、従来以上の宣伝・普及活動に尽力した。
- ・ひむかかるとしては、宮崎の教育文化としてひむかかると大会が定着していくことを強く願っており、参加校数増加はかるたプロジェクト発展に不可欠な要素であると考えている。従って、今後も事前宣伝や出張指導の強化など、そのための対策を確実に講じていく予定である。
- ・特に平成26年度は市内小学校との協力事業を例年以上に充実させることができた。まず、協力校として昨年度の小戸小学校、西池小学校、大宮小学校に加え、宮崎小学校、高岡小学校、大塚小学校にもご協力をいただいた。この6校には今後の普及活動における中核を担うべく、平成27年度以降も協力いただく予定である。また、前述のキャラバン訪問を行った小学校を中心に、市内各校のなかから新たに希望を募り、協力校となつていただく予定である(現在のところ合計10校程度を計画している)。

競技風景

(幼児の部)



(小学生の部)



宮崎銀行との連携協力

- 1 平成 26 年度業界研究セミナー講師派遣（宮崎銀行）
本学が実施した業界研究セミナーに、行員の講師を派遣してもらった。
 - (1) 実施日 平成 27 年 1 月 9 日（金）
 - (2) 参加者数 24 名

- 2 平成 26 年度インターンシップへの参加（宮崎銀行）
宮崎銀行からの依頼を受け、本学の学生が参加した。
 - (1) 実施日 平成 26 年 8 月 18 日（月）、19 日（火）： 2 名
平成 26 年 12 月 25 日（木）、26 日（金）： 9 名
平成 27 年 2 月 19 日（木）、20 日（金）： 4 名
 - (2) 参加者数 計 15 名

- 3 平成 26 年度『インターンシップ論』講義の講師派遣（みやぎん経済研究所）
本学が実施した『インターンシップ論』講義に、行員の講師を派遣してもらった。
 - (1) 実施日 平成 26 年 6 月 5 日（木）
 - (2) 参加者数 68 名

- 4 平成 26 年度インターンシップへの参加（みやぎん経済研究所）
みやぎん経済研究所からの依頼を受け、本学の学生が参加した。
 - (1) 実施日 平成 26 年 9 月 1 日（月）～ 5 日（金）
 - (2) 参加者数 6 名

宮崎商工会議所との連携協力

1 みやざき観光・文化検定

宮崎商工会議所が主催して実施した「みやざき観光・文化検定」に対して、次のような連携協力を行った。

- ・試験会場として学内施設を提供（第8回検定：平成26年12月21日実施）

2 日商簿記検定

日商簿記検定の試験会場として、学内施設の提供を行った。

- ・第137回検定 実施日：平成26年 6月 8日
- ・第138回検定 実施日：平成26年11月16日
- ・第139回検定 実施日：平成27年 2月22日